

政務活動費活動報告（視察）

(1) 出席者（会派名・個人名）

夢みらい

赤井康彦 安藤博 辻真理子 八木嘉之 小川喜三郎

(2) 実施日：

7月23日（水）

【1. 調査の目的】

(1) 本市における現状

平成26年9月議会よりネット配信を実施する

議会報告会においては既に一度実施

(2) 本市における課題

実施に至るにあたって担当委員会でこれまでの何度も議論を積み重ねてきている中で

9月議会より配信開始の為 課題はこれからたくさん出てくると思われる

議会報告会は、一度実施したが参加者の少なさと議会の内容報告には関心を持ってもらえず住民要望を聞く会になっていく事が懸念される。

【2. 調査地選定理由】

(1) 調査項目

インターネット中継

議会報告会

(2) 選定地：

岡山県瀬戸内市

【3. 調査結果】

(1) 内容

瀬戸内市では、議会改革の一環で平成23年9月にインターネット中継を開始された。

導入実績額として初期費用、役務費手数料（光回線工事）3,150円、備品購入費6,162,660円、毎年経費として役務費通信運搬費（光回線使用）64,404円、（プロバイダ）127,008円、使用料及び賃借料751,680円となっている。

業者の選定方法は、プロポーザル方式とし4社の中で内部検討委員会により決定された。

主な特徴として録画映像は、5年分配信とする事。画面の中に更に小さな画面が映し出すことができるピクチャーインピクチャーを搭載。対面モードなどを取り入れた。

アクセス数は、ライブで7000件、録画で17000件ほどが視聴されており、以前の議会傍聴者数と配信開始後ではあまり変わらないとの事。

議場で掲げられた質問資料の映像を映すかとの問いには、書籍などを映す事は、著作権侵害の恐れがあるという事で議会運営委員会で検討され、現在実施していないとの事。

ライブ中継時に災害等が起こる可能性を指摘し、防災システムとの連動派は？との問いには、担当部局と協議したが災害時はアクセス数が集中し、重い画像を出すのは難しいと判断し連動はしていないとの事であった。

議会報告会は、平成 24 年から実施しているが今年開催された参加者は 3 か所で 18 名と低調に終わった。また、議会報告を聞きに来るというより個人的地域的な要望を言いに来るといった感が否めないとの事。議会広報との差別化が必要であると事務局は考えている。

(2) 考察

我が市議会でも平成 26 年 9 月議会よりインターネット中継を行う予定であり、先進地の瀬戸内市の取組を聞き大変参考になったと感じる。

質問資料の映像には、著作権が侵害される恐れや導入当初 映像が配信されなく市議会を一時中断したことなど実際に行っている自治体での声を聞いたことは非常に有意義でありました。また、瀬戸内市議会より議会運営委員長が同席して頂き、映される議員としての見解も述べて頂き、居眠り議員が少なくなった事や質問者の後ろに座る議員は常に緊張しているとの言葉に納得いたしました。

ライブ中継と防災システムの連動は無いとの事でしたが、わが市議会において配信システムの切り替えなどで十分対応できると考えられるので今後の検討材料であると感じる。

議会報告会においては、参加者が低調であり、個人的地域的な要望を言いに来る会になってしまっているとの事でわが市においても同じことが伺えると感じた。また、議会広報と同じことをしているのでは意味がないとの意見に報告会の可能性や意義を改めて考えねばならないと感じた視察でもありました。